

2021年3月期第2四半期 決算短信補足資料

◇ 2021年3月期 上期連結業績の総括	P. 2
◇ 2021年3月期 上期セグメント別連結業績	P. 3
◇ 2021年3月期 上期連結財政状態	P. 4
◇ 2021年3月期 上期連結業績のポイント	P. 5
◇ 2021年3月期 上期連結キャッシュ・フロー	P. 6
◇ 2021年3月期 通期連結業績計画	P. 7
◇ 2021年3月期 通期セグメント別連結業績計画	P. 8
◇ 主力商品紹介	P. 9

■売上高■

新型コロナウイルス感染症の影響による外出自粛などから、内食や中食需要が高まる一方で、主に外食産業や都市部のコンビニエンスストアの需要は依然として低迷していることなどから、前年同期比△5.1%の減収。

■営業利益■

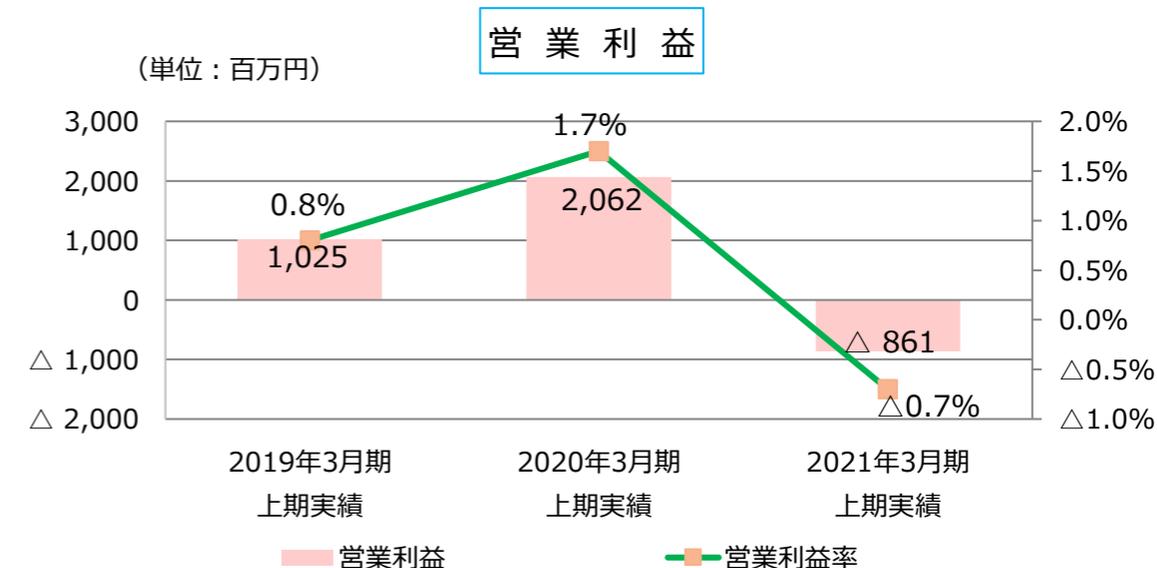
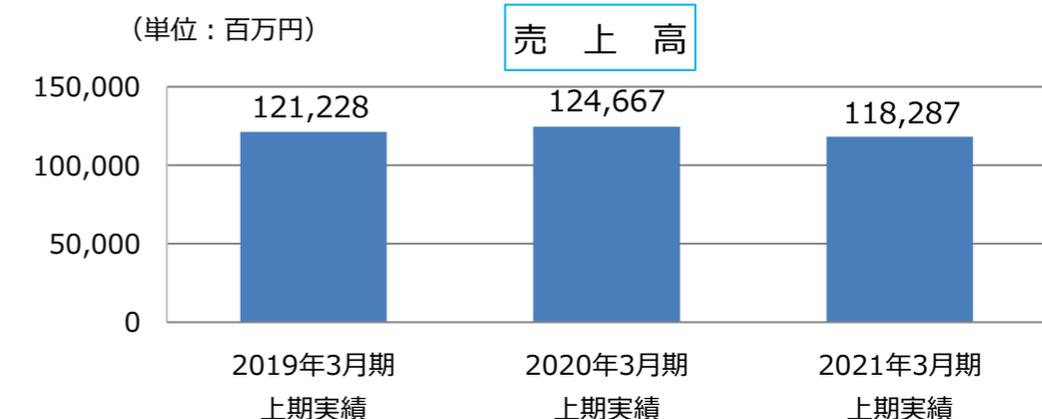
外食需要の低迷などによる減収や競争激化による低価格化、原材料価格の上昇などから、△861百万円の営業損失。

■親会社株主に帰属する四半期純利益■

トーラク株式会社の株式取得に伴い、特別利益として負ののれん発生益997百万円を計上するも、営業利益が大きく減少したことなどから、前年同期比△82.6%の減益。

(単位：百万円)

	2019年3月期 上期実績	2020年3月期 上期実績	2021年3月期		
			上期実績	対前期 増減額	対前期 増減率
売上高	121,228	124,667	118,287	△ 6,380	△ 5.1%
営業利益 (売上高比率)	1,025 (0.8%)	2,062 (1.7%)	△ 861 (△ 0.7%)	△ 2,924 (△ 2.4%)	- -
経常利益 (売上高比率)	1,232 (1.0%)	2,379 (1.9%)	△ 585 (△ 0.5%)	△ 2,964 (△ 2.4%)	- -
親会社株主に帰属する 四半期純利益 (売上高比率)	637 (0.5%)	1,434 (1.2%)	250 (0.2%)	△ 1,184 (△ 1.0%)	△ 82.6% -
1株当たり 四半期純利益	25.01円	56.42円	9.83円	△46.59円	-



(単位：百万円)

	2019年3月期 上期実績	2020年3月期 上期実績	2021年3月期		
			上期実績	対前期 増減額	対前期 増減率
加工食品事業	84,803	86,983	81,535	△ 5,447	△ 6.3%
ハム・ソーセージ	40,241	38,743	38,077	△ 665	△ 1.7%
調理加工食品	44,562	48,239	43,457	△ 4,781	△ 9.9%
食肉事業	36,343	37,603	36,666	△ 937	△ 2.5%
その他	80	80	84	4	5.8%
売上高	121,228	124,667	118,287	△ 6,380	△ 5.1%
加工食品事業 (売上高比率)	210 (0.2%)	1,426 (1.6%)	△ 1,196 (△ 1.5%)	△ 2,622 (△ 3.1%)	-
食肉事業 (売上高比率)	772 (2.1%)	601 (1.6%)	297 (0.8%)	△ 303 (△ 0.8%)	△ 50.6%
その他	42	35	37	1	4.3%
セグメント利益 (売上高比率)	1,025 (0.8%)	2,062 (1.7%)	△ 861 (△ 0.7%)	△ 2,924 (△ 2.4%)	-

■加工食品事業■

〔ハム・ソーセージ部門〕 前年同期比△1.7%の減収

- ・内食需要の高まりから「おうち時間の充実」をテーマにした販売促進を実施し、「燻製屋熟成あらびきポークウインナー」「いつも新鮮コースハム」など主力商品を中心に拡販。
- ・人気キャラクターを使用した「おべんとうのすみっこにいてネ ウインナー」などの新商品を投入。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響により一部の業務用食材が低調に推移。
- ・外出自粛等の影響もあり中元ギフトも伸び悩む。

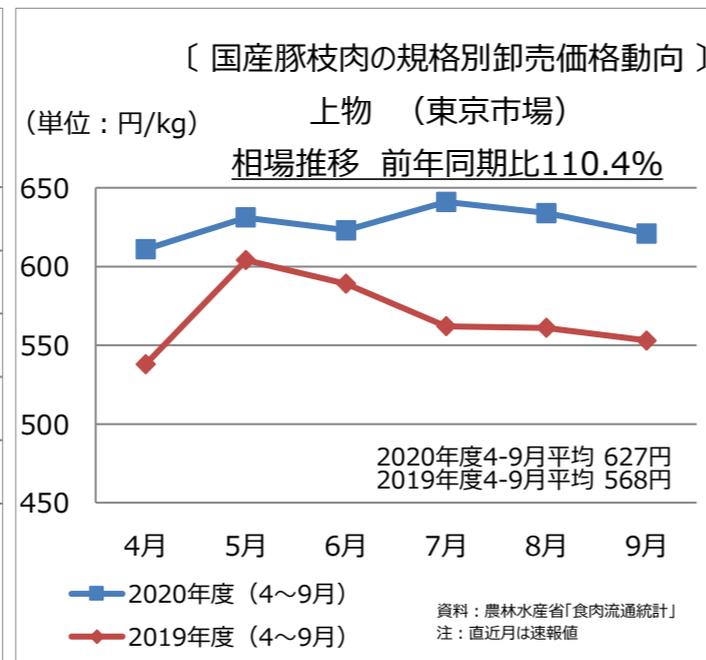
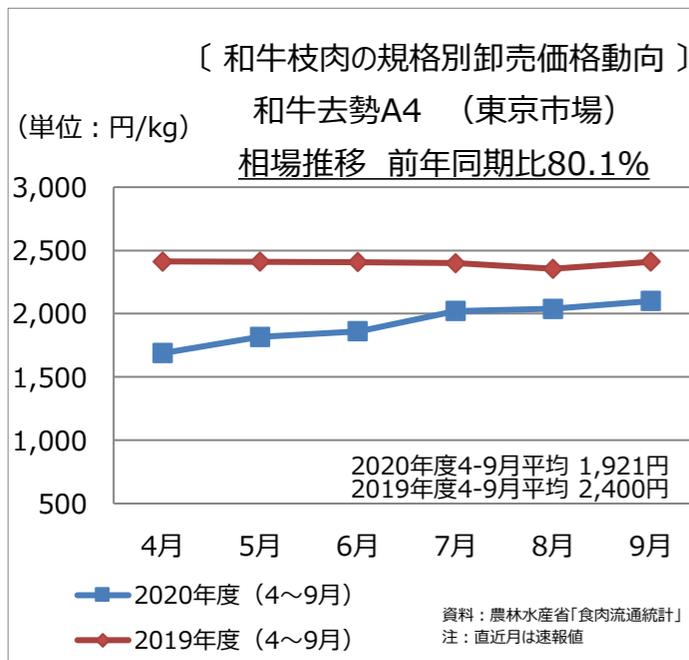
〔調理加工食品部門〕 前年同期比△9.9%の減収

- ・家庭での備蓄用商品として「ビストロ倶楽部ビーフカレー」シリーズの売上高が伸長。
- ・「スンドゥブ」「サラダチキン」など主力のシリーズ商品の売上高が好調に推移。
- ・外出自粛要請や在宅勤務などの影響から、都市部を中心としたコンビニエンスストア向け商品が低調に推移したほか、競合他社参入も重なったブラックタピオカ入り飲料の売上高が大きく減少。

【総括】

売上高は、前年同期比△6.3%の減収。
セグメント利益は、売上高の減少や競争激化による低価格化、原材料価格の上昇などから、前年同期を大きく下回り、△1,196百万円の損失（前年同期は1,426百万円の利益）。

〔資料：枝肉規格別卸売価格動向〕



■食肉事業■

〔牛肉〕 前年同期比減収

- ・国産牛肉はほぼ前年並みの売上高を確保。
- ・輸入牛肉は外食需要の低迷や販売単価下落の影響により売上高が低調に推移。

〔豚肉〕 前年同期比減収

- ・アウトパック商品の売上高が伸長。
- ・輸入豚肉は海外調達先からの供給量減少や外食需要の低迷の影響を受ける。

〔鶏肉〕 前年同期比減収

- ・輸入品の国内在庫量が増加し販売単価低下から売上高減少。

【総括】

売上高は、前年同期比△2.5%の減収。
セグメント利益は、外食需要の低迷などにより、前年同期比△50.6%の減益。

2021年3月期 上期連結財政状態



(単位：百万円)

	2020年3月期	2020年3月期	2021年3月期	対前期末 増減額		2020年3月期	2020年3月期	2021年3月期	対前期末 増減額
	第2四半期末	期末	第2四半期末			第2四半期末	期末	第2四半期末	
現金及び預金	9,195	8,244	7,894	△ 350	仕入債務	26,168	23,165	22,665	△ 500
売上債権	28,281	27,501	26,722	△ 779	有利子負債	16,604	19,415	23,591	4,175
たな卸資産	18,704	17,593	18,922	1,329	その他	16,025	14,216	14,107	△ 109
その他	1,570	2,258	1,859	△ 398	負債合計	58,798	56,798	60,363	3,565
流動資産合計	57,751	55,597	55,398	△ 199	株主資本	71,602	71,821	71,141	△ 679
有形固定資産	57,949	59,072	61,364	2,291	その他の包括利益累計額	3,956	2,688	3,702	1,014
無形固定資産	3,208	3,050	2,929	△ 121	非支配株主持分	530	545	571	25
投資その他の資産	15,977	14,133	16,087	1,954	純資産合計	76,089	75,056	75,415	359
固定資産合計	77,136	76,256	80,381	4,124	負債純資産合計	134,888	131,854	135,779	3,925
資産合計	134,888	131,854	135,779	3,925					

※有利子負債 = 借入金 + リース債務

■設備投資・減価償却費の状況■

(単位：百万円)

	2020年3月期	2020年3月期	2021年3月期	対前年同期 増減額
	上期	通期	上期	
設備投資	4,189	9,167	3,157	△ 1,032
減価償却費	3,114	6,801	3,749	635

■自己資本・自己資本比率・D/Eレシオの状況■

(単位：百万円)

	2020年3月期	2020年3月期	2021年3月期	対前期末 増減額
	第2四半期末	期末	第2四半期末	
自己資本	75,559	74,510	74,844	334
自己資本比率	56.0%	56.5%	55.1%	△ 1.4%
D/Eレシオ	23.2%	27.0%	33.2%	6.2%

※D/Eレシオ = 有利子負債 ÷ 株主資本

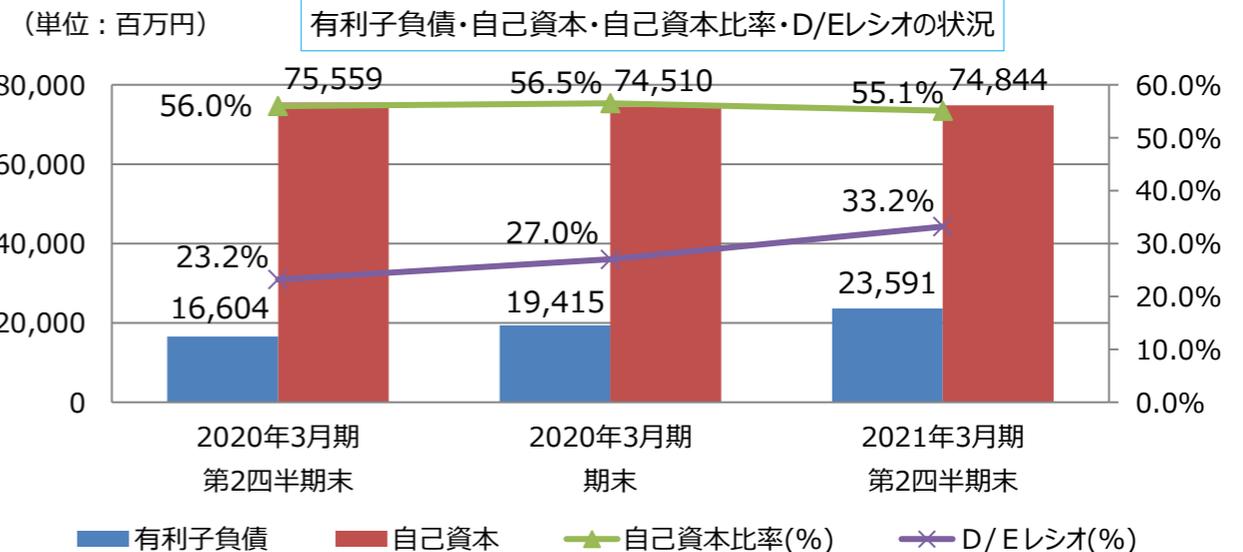
◆総資産は、当第2四半期連結会計期間においてトーラク株式会社を連結子会社としたことなどから、有形固定資産、原材料及び貯蔵品が増加したことなどにより、前期末比3,925百万円増加。

◆負債は、仕入債務が減少するも、有利子負債が増加したことなどから、前期末比3,565百万円増加。

◆純資産は、剰余金の配当があるも、その他有価証券評価差額金の増加や親会社株主に帰属する四半期純利益の計上などから、前期末比359百万円増加。

◆自己資本比率は、前期末比△1.4%低下、D/Eレシオは、前期末比6.2%上昇。

◆設備投資は、前年同期比△1,032百万円減少の3,157百万円を実施。



2021年3月期 上期連結業績のポイント



(単位：百万円)

	2019年3月期 上期実績	2020年3月期 上期実績	2021年3月期		
			上期実績	対前期 増減額	対前期 増減率
売上高	121,228	124,667	118,287	△ 6,380	△ 5.1%
売上総利益 (売上高比率)	26,737 (22.1%)	28,626 (23.0%)	24,418 (20.6%)	△ 4,207 (△ 2.4%)	△ 14.7% -
販売費及び一般管理費 (売上高比率)	25,711 (21.2%)	26,563 (21.3%)	25,280 (21.4%)	△ 1,283 (0.1%)	△ 4.8% -
営業利益 (売上高比率)	1,025 (0.8%)	2,062 (1.7%)	△ 861 (△ 0.7%)	△ 2,924 (△ 2.4%)	- -
営業外損益	206	316	276	△ 39	-
営業外収益	420	522	477	△ 44	-
営業外費用	213	206	201	△ 4	-
経常利益 (売上高比率)	1,232 (1.0%)	2,379 (1.9%)	△ 585 (△ 0.5%)	△ 2,964 (△ 2.4%)	- -
特別損益	△ 91	△ 45	884	929	-
特別利益	84	132	1,030	898	-
特別損失	176	177	146	△ 30	-
税金等調整前 四半期純利益	1,140	2,334	298	△ 2,035	△ 87.2%
法人税等合計	491	883	19	△ 863	-
四半期純利益	649	1,450	279	△ 1,171	-
非支配株主に帰属する 四半期純利益	11	15	29	13	-
親会社株主に帰属する 四半期純利益	637	1,434	250	△ 1,184	△ 82.6%

増 減 要 因

■売上総利益■

売上高の減少に加え、競争激化による低価格化、原材料価格の上昇などから、売上総利益は、△4,207百万円（前年同期比△14.7%）の減益。売上総利益率は20.6%、前年同期比△2.4%の低下。

■販売費及び一般管理費■

売上高減少に伴い販管費全体では △1,283百万円（前年同期比△4.8%）の減少。売上高比率は21.4%、前年同期比0.1%の上昇。

(単位：百万円)

	2019年3月期 上期実績	2020年3月期 上期実績	2021年3月期	
			上期実績	対前期 増減額
人件費	5,602	5,270	5,269	△ 1
配送費	14,115	15,160	14,353	△ 806
その他	5,993	6,132	5,656	△ 475
合計	25,711	26,563	25,280	△ 1,283

■営業外損益■

(単位：百万円)

	2019年3月期 上期実績	2020年3月期 上期実績	2021年3月期	
			上期実績	対前期 増減額
受取利息・配当金	164	181	163	△ 18
その他の	256	340	314	△ 25
営業外収益計	420	522	477	△ 44
支払利息	106	109	118	8
その他の	107	96	82	△ 13
営業外費用計	213	206	201	△ 4

■特別損益■

(単位：百万円)

	2019年3月期 上期実績	2020年3月期 上期実績	2021年3月期	
			上期実績	対前期 増減額
固定資産処分益	5	132	32	△ 99
負ののれん発生益	-	-	997	997
投資有価証券売却益	78	0	-	△ 0
特別利益計	84	132	1,030	898
固定資産処分損失	91	144	104	△ 39
減損損失	27	32	42	9
その他	58	-	-	-
特別損失計	176	177	146	△ 30

■営業活動によるCF■

運転資金の増加による減少要因があるも、減価償却費の計上などから、2,095百万円増加。

■投資活動によるCF■

固定資産の売却による収入があるも、生産設備の増強・合理化や品質向上のための固定資産取得による支出や連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出などから、△3,737百万円減少。

■財務活動によるCF■

配当金の支払いや自己株式の取得による支出があるも、有利子負債の増加などから、1,291百万円増加。

(単位：百万円)

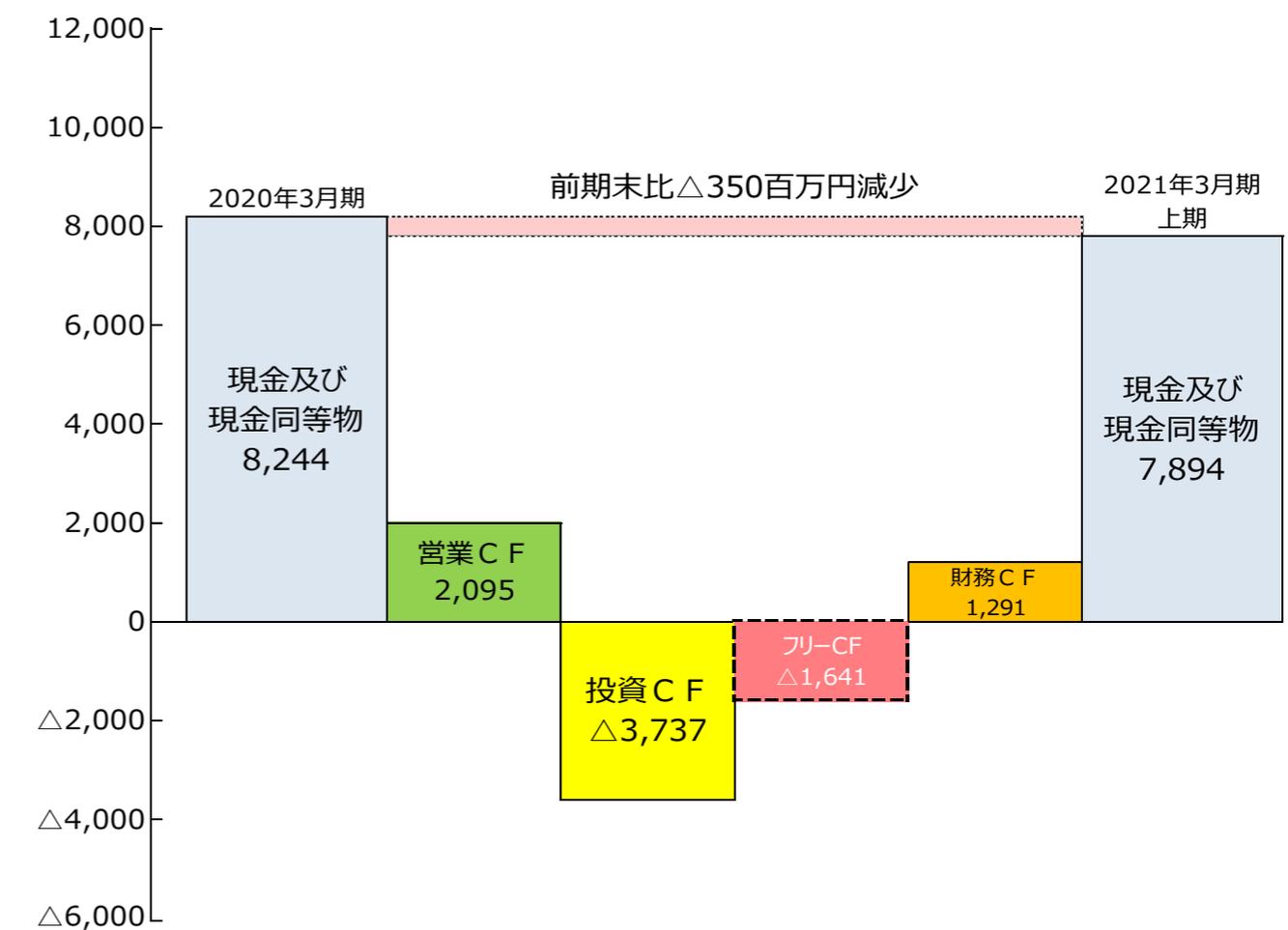
	2020年3月期 上期実績	2021年3月期	
		上期実績	対前期 増減額
営業活動によるCF	7,171	2,095	△5,076
投資活動によるCF	△3,460	△3,737	△277
フリー・キャッシュ・フロー ※	3,711	△1,641	△5,353
財務活動によるCF	△2,642	1,291	3,934
現金及び現金同等物の増減額	1,068	△350	△1,418
現金及び現金同等物残高	9,195	7,894	△1,301

■2021年3月期上期連結キャッシュ・フローの主な内訳■

(単位：百万円)

	2020年3月期 上期実績	2021年3月期	
		上期実績	対前期 増減額
◆営業活動によるCF◆			
・税金等調整前四半期純利益	2,334	298	△2,035
・減価償却費	3,114	3,749	635
・運転資金	2,571	△379	△2,950
・その他	△848	△1,573	△725
◆投資活動によるCF◆			
・固定資産の取得による支出	△3,597	△3,030	566
・固定資産の売却による収入	333	141	△191
・子会社株式の取得による支出	-	△1,195	△1,195
・その他	△196	346	542
◆財務活動によるCF◆			
・有利子負債増減	△1,727	2,225	3,952
・配当金の支払額	△889	△889	0
・その他	△25	△43	△18

(単位：百万円)



※ フリー・キャッシュ・フロー = 営業活動によるキャッシュ・フロー + 投資活動によるキャッシュ・フロー

- ・当社グループは、お客様に、より安全でより安心して召し上がっていただける食品を提供する総合食品メーカーとして、真に社会的存在価値が認められる企業を目指す。
- ・「商品競争優位戦略」「収益構造改革」「多角化戦略」「人材育成と働き方改革」「企業価値向上戦略」の5つの基本方針を掲げ企業活動を推進。

〔2021年3月期下期の当社グループを取り巻く環境〕

- ・新型コロナウイルス感染症の影響による外出自粛などから、内食や中食需要は堅調に推移したものの、外食産業や都市部のコンビニエンスストアの需要低迷、販売競争激化による採算の悪化などから、当第2四半期連結累計期間は、売上高および各利益段階で前年同期を下回る。下期は、外食需要などに回復の傾向はあるが、デザート・飲料類の売上高の回復が遅れ気味で収益の伸び悩みが見られることや、引続き販売競争激化が見込まれる。

〔通期業績計画〕

- ・2021年3月期通期連結業績計画は、2020年8月5日に公表の計画を以下の通り修正。
なお、中期経営計画の業績見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大による影響を現段階で合理的に算定することが極めて困難なことから、計画数値を検証し、見直したうえで公表いたします。

■通期見通し■

(単位：百万円)

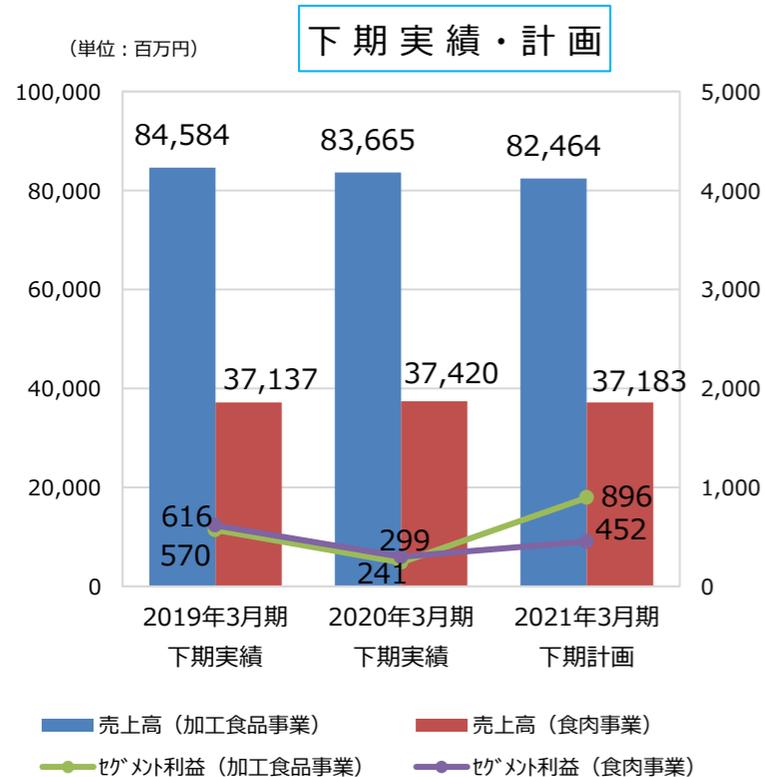
	2019年3月期			2020年3月期			2021年3月期						
	上期実績	下期実績	通期実績	上期実績	下期実績	通期実績	上期実績	下期計画	対前期増減額	対前期増減率	通期計画	対前期増減額	対前期増減率
売上高	121,228	121,802	243,030	124,667	121,152	245,820	118,287	119,712	△1,440	△1.2%	238,000	△7,820	△3.2%
営業利益 (売上高比率)	1,025 (0.8%)	1,227 (1.0%)	2,253 (0.9%)	2,062 (1.7%)	554 (0.5%)	2,617 (1.1%)	△861 (△0.7%)	1,361 (1.1%)	807 (0.6%)	145.6%	500 (0.2%)	△2,117 (△0.9%)	△80.9%
経常利益 (売上高比率)	1,232 (1.0%)	1,491 (1.2%)	2,724 (1.1%)	2,379 (1.9%)	739 (0.6%)	3,118 (1.3%)	△585 (△0.5%)	1,485 (1.2%)	745 (0.6%)	100.9%	900 (0.4%)	△2,218 (△0.9%)	△71.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益 (売上高比率)	637 (0.5%)	826 (0.7%)	1,463 (0.6%)	1,434 (1.2%)	218 (0.2%)	1,653 (0.7%)	250 (0.2%)	649 (0.5%)	431 (0.3%)	196.8%	900 (0.4%)	△753 (△0.3%)	△45.6%
1株当たり 当期純利益	25.01円	32.47円	57.48円	56.42円	8.62円	65.04円	9.83円	25.59円	16.97円	-	35.42円	△29.62円	-
1株当たり配当金	-	-	35円	-	-	35円	-	-	-	-	30円	-	-

2021年3月期 通期セグメント別連結業績計画

■セグメント別通期見通し■

(単位：百万円)

	2019年3月期			2020年3月期			2021年3月期						
	上期実績	下期実績	通期実績	上期実績	下期実績	通期実績	上期実績	下期計画	対前期増減額	対前期増減率	通期計画	対前期増減額	対前期増減率
加工食品事業	84,803	84,584	169,387	86,983	83,665	170,648	81,535	82,464	△ 1,201	△ 1.4%	164,000	△ 6,648	△ 3.9%
食肉事業	36,343	37,137	73,481	37,603	37,420	75,024	36,666	37,183	△ 236	△ 0.6%	73,850	△ 1,174	△ 1.6%
その他	80	80	161	80	67	147	84	65	△ 1	△ 2.9%	150	2	1.8%
売上高	121,228	121,802	243,030	124,667	121,152	245,820	118,287	119,712	△ 1,440	△ 1.2%	238,000	△ 7,820	△ 3.2%
加工食品事業 (売上高比率)	210 (0.2%)	570 (0.7%)	781 (0.5%)	1,426 (1.6%)	241 (0.3%)	1,668 (1.0%)	△ 1,196 (△ 1.5%)	896 (1.1%)	654 (0.8%)	270.4% -	△ 300 (△ 0.2%)	△ 1,968 (△ 1.2%)	- -
食肉事業 (売上高比率)	772 (2.1%)	616 (1.7%)	1,389 (1.9%)	601 (1.6%)	299 (0.8%)	900 (1.2%)	297 (0.8%)	452 (1.2%)	153 (0.4%)	51.2% -	750 (1.0%)	△ 150 (△ 0.2%)	△ 16.7% -
その他	42	39	82	35	12	48	37	12	△ 0	△ 0.5%	50	1	3.0%
セグメント利益 (売上高比率)	1,025 (0.8%)	1,227 (1.0%)	2,253 (0.9%)	2,062 (1.7%)	554 (0.5%)	2,617 (1.1%)	△ 861 (△ 0.7%)	1,361 (1.1%)	807 (0.6%)	145.6% -	500 (0.2%)	△ 2,117 (△ 0.9%)	△ 80.9% -



■加工食品事業■

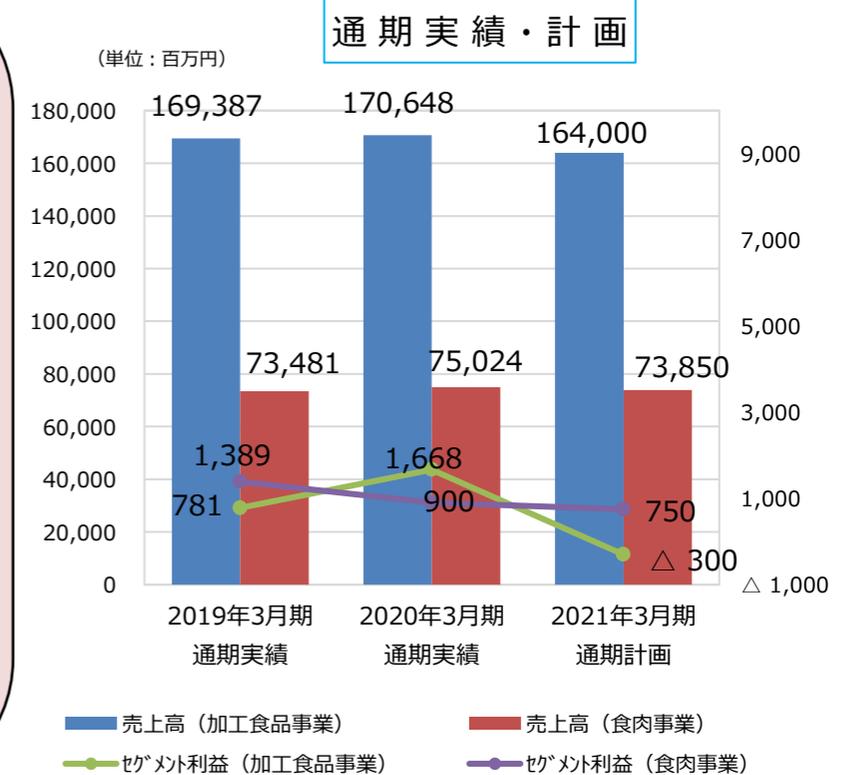
- ・「お客様視点」を軸に生活シーンに合わせた商品提案と販促強化。
- ・内食需要、備蓄用商品の需要の高まりなどから、主力のハム・ソーセージや各種レトルト商品等の販売強化と収益性の向上。
- ・環境変化に対応した業務用食材の販売提案。
- ・歳暮ギフトは「王覇」「煌彩」を中心に安心感と品質の良さをアピールし拡販。
- ・デザート・飲料類は、各社の強みを生かし売上高の回復を図る。

加工食品事業の通期業績は、売上高△3.9%減、セグメント利益△300百万円の計画。

■食肉事業■

- ・付加価値の高いオリジナルブランド商品の取り扱い強化。
- ・アウトパック商品、ミート惣菜など食肉加工品の強化。
- ・外食需要の回復に向けた収益改善の取り組み。

食肉事業の通期業績は、売上高△1.6%減、セグメント利益△16.7%減を計画。





加工食品



©2020 San-X Co., Ltd. All Rights Reserved.



調理加工食品部門



丸大食品

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。